

健康で働く喜び いつまでも

シルバー

ひがしくるめ

114

2023/8
発行

夏の湧水・落合川散策



撮影 編集委員

目		次	
第13回定時社員総会	… 2	ラッピングバス広告(広報部)	… 6
第13回定時社員総会(会員表彰)	… 3	体力測定会(安全管理委員会)	… 7
理事・監事紹介	… 4	東京マラソン(ボランティア活動)	… 7
役員・地域班長会議報告	… 5	安全管理委員会報告	… 8
春の散策(組織活性化委員会)	… 6	編集後記・入会説明会日程	… 8

第13回 定時社員総会



会長挨拶



市長祝辞



議長祝辞



令和5年6月29日(木)
第13回定時社員総会が、東久留米市生涯学習センターまるにえホールにて開催されました。

今年5月から、新型コロナウイルスが第5類に引き下げられ、昨年までのような、入場者数の制限や、座席をあげて着席をお願いする事もなく、多くの会員の参加のもと、開催する事ができました。

当日は酷暑と言えるほどの暑さでしたが、参加された皆さんの、暑さに負けない熱心な取り組みのもと、すべての議事が滞りなく進行されました。

登録会員数1129名のうち、出席者数は851名でした。(委任状提出者666名、議決権行使書提出者108名、当日出席者77名)

総会は、来賓に、「東久留米市長 富田竜馬様」「市議会議長 沢田孝康様」「市議会厚生委員長 村山順次郎様」「社会福祉法人東久留米市社会福祉協議会会長 松本誠一様」「東久留米市シニアクラブ連合会会長 木村温真様」「特定非営利活動法人東久留米市文化協会会長 比田井芳武様」「東久留米市商工会会長 井田清治様」をお迎えし、樋川理事の司会により開会となりました。

永淵副会長の開会挨拶、名和会長の挨拶に続き、会員表彰が行われ、11名の方に感謝状の贈呈が行われました。

更に警視庁田無警察署より「ボランティア活動に対する表彰報告」も行われました。

その後、来賓を代表して、富田市長および、沢田議長から祝辞をいただきました。

引続き、議案審議に入り、議長には小田桐理事が選出され、議案書に基づき、監査報告、令和4年度事業報告が行われました。

また決議事項として令和4年度決算書類等承認、理事13名、監事2名の選出が行われ、議案のすべてが議決されました。

総会は、齋藤理事による閉会の挨拶で滞りなく終了しました。



ボランティア活動
田無警察署より表彰



第13回 定時社員総会 『会員表彰』

会員表彰者

おめでとうございます

- | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|
| 水木 薫治 | 小林 一一 | 紙谷 道子 | 翁 昌子 | 東田 勇 | 山本 三枝子 | 渡辺 満 | 栗山 勝登 | 林 重壽 | 中田 君子 | 飯島 定男 |
| (中央町) | (神宝町) | (下里) | (下里) | (金山町) | (中央町) | (上の原) | (八幡町) | (柳窪) | (八幡町) | (下里) |

(会員番号順 敬称略)



謝辞
水木 薫治様

皆さん、今日はこの高きところから申し訳ありません。水木と申します。私が会員になりましては、ちょうど13年前です。就業先は学校の施設管理の仕事をしておりました。入会当時、別業に於いて、事務局から各就業所にマニユアル書がないこと等、作成するよう指導を受けている頃でありました。

また、講習会で教わった講師の花言葉などが、私達、仕事の役割を認識する事ができました。講師が言われたその花言葉は、皆さんもご存じかと思えます。(針は、糸を導いて、着物を縫う)(されど、着物を縫うは、針にあらざ、糸なり)と言う役割に付いてのお話しでありました。私たちが就業場所での仕事はまさに(針の役割)では無かろうかと思えます。針と糸は共同作業ですが、縫いは終わった着物からは(針)は残りません。しかし、私達の導いた糸は、後々と残ります。この針の役割の様に全うすることを、依頼先、皆様から、期待されています。最後に申し上げます、微力ながら、仕事を楽しく経験させて頂きました。一緒に仕事を皆さん多方面に導いて下さったシルバー人材センターの方々、ご支援下さった方々に感謝する次第です。どうも、ありがとうございました。

理事・監事 紹介

① 鹿島 宗男

② 常務理事
事務局長



① 名和 卓良

② 代表理事
会長
③ 浅間町
氷川台
東本町
新川町



① 小田桐 貞

② 代表理事
副会長
総務部会
③ 上の原
神宝町
金山町 大門町



① 樋川 道子

② 理事
総務部会長
③ 学園町
ひばりが丘
南沢



① 齋藤 松衛

② 理事
事業部会長
③ 滝山6丁目
(1~3 街区)



① 巖淵 孝昭

② 理事
広報部会長
③ 中央町



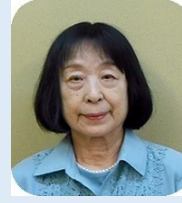
① 菅原 勇一

② 理事
総務部会
③ 下里



① 三橋 てるよ

② 理事
事業部会
③ 前沢



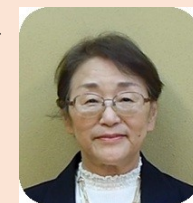
① 堀江 和子

② 理事
広報部会
③ 幸町



① 井上 喜美子

② 理事
総務部会
③ 小山
本町



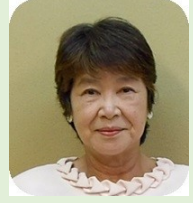
① 田村 哲夫

② 理事
事業部会
③ 滝山
(6丁目除く)
弥生



① 有田 治子

② 理事
広報部会
③ 柳窪



① 宮本 佳明

② 理事
事業部会
③ 野火止
八幡町



① 河野 充次

② 理事
広報部会
③ 南町



① 飯田 優子

② 監事



① 富澤 義信

② 監事



『汎例』

- ① 氏名
- ② 役職・所属部会
- ③ 担当地域

役員・地域班長会議 報告

今年3月に、地域班長を対象として行った「アンケート」結果をもとに、役員・地域班長会議が5月に開催されました。

本来ならば、全班長が集まって開催する予定でしたが、今回もコロナ対策として、地域ブロック別の開催となりました。

開催日時、対象地域、出席者等は下表を参照下さい。

会議の主な議題は次の通りです。

- ・センターの現状報告
- ・アンケート結果報告と、内容について意見交換
- ・地域班活動補助金説明



今回の会議では、多くの建設的な意見が出され、活発な意見交換が行われました。

又、地域懇談会が3年間も実施されていないことや、コロナ禍で会員同士の繋がりを目的とした諸行事が中止になったため、会員間の交流が希薄になったとの意見が出され、地域活動の活性化も大きな課題として取り上げられました。

その他、会員拡大や回覧情報の運用などについても話し合いが行われました。

関連事項として、今年度の懇談会の内容や実施方法は、担当理事・班長と相談して実施する事が確認されました。



(開催日順に掲載)

	中部ブロック	西部ブロック	東部ブロック
開催日	令和5年5月18日(木)	令和5年5月19日(金)	令和5年5月29日(月)
開催場所	シルバー人材センター2階会議室	シルバー人材センター2階会議室	東部地域センター
担当地域	小山、本町、学園長、ひばりヶ丘 南沢、幸町、中央町、南町	野火止、八幡町、前沢、柳窪 下里、滝山、弥生	神宝町、金山町、大門、浅間町 氷川台、東本町、新川町
地域班長数	18名	24名	10名

春の散策

(組織活性化委員会)

「地元の魅力再発見！健康ウォーク」をキャッチフレーズに柳泉園、村野家「顧想園」くさいかち窪（昼食）、郷土資料館を散策コースに4月5日（水）参加者32名が事務局を出発しました。

「柳泉園」は毎日の生活で見逃さないゴミ問題、ごみ処理の流れを、スクリーンの上映にて理解を深め、ごみ分別の大切さを目の当たりにしながら、リサイクルセンターの施設内を見学。個々のきめ細やかな捨て方により、作業される方々の安全を守る協力ができるとう感じました。

「村野家」に向かう閑静な住宅街を抜け、さわやかな新緑の中、和の遊歩道を歩きました。黒目川沿いの村野家の正面の銅板屋根とけやき一枚板の薬医門はその重厚さに感動しました。江戸時代から令和の今日まで、かやぶき屋根の母屋のたたずまいと、土蔵の白壁を、引き立たせている園庭の木々の緑と燈籠の景観に「ここも東久留米なんだ！」と心静かに味わいました。



苦むす庭で可憐な花を見つける皆さん、スマホで調べて「クマガイ草」と知り、朝ドラ「らんまん」さながらの笑顔でした。

市の広報誌にて見学募集も抽選になる人気の村野家「顧想園」ですが、シルバー会員の就業先とのご縁から、快く見学させていただきました。

空腹を感じながら途中「角上」にて各々がお弁当を買いました。「さいかち窪」で昼食となりました。黒目川の源流地と言われても、現在は残念ながら水が涸れてしまい、その跡をわずかに留める程度の場所を疑いの眼で眺めてしまいました。

食事を終え、ここで途中帰宅者と別れました。残った方の足並みは少しお疲れ気味でしたが、ここから45分、最終目的地の「郷土資料館」へ向かいました。石器や土器が数多く展示されており、東久留米は豊かな水源があり、人類が住みやすい生活拠点になっていったという生活を、石器時代からの先人たちの遺産が物語っていました。手製の農業用工具の展示品を見て、幼い頃の記憶がちらつき懐かしい昭和を味わいました。

今後は、歩く習慣のない人も含め、身近な我が街を皆様と楽しんで散策会を実行できればと思っております。



ラッピングバス広告

(広報活動)

2023年4月1日から、西武バス滝山営業所系統（主に滝山営業所⇄東久留米駅間）で運行されているバスの運転席側、（乗降口の反対側）の側面に『60歳以上の市民の皆さん、一緒に地域デビューしませんか？』の絵が描かれています。乗るときは見えませんが、西武バスが走っていたら、是非探して見てください。

3年にわたり続いているコロナ禍の影響もあり、このところ会員数の減少が止まりません。

広報部会では、何とか減少を食い止め、会員の増加につながるべからぬかと、色々アイデアを出し合い実行していますが、中々成果が出ていません。

それだけに、このラッピングバスにかかる期待は大。東久留米市シルバー人材センターに関心を持っていただき、入会に前向きになってくれることを期待します。



体力測定会

(安全管理委員会)

3月10日(金)青少年センターにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施を見送っていた体力測定会が3年ぶりに行われ、当日は天気も良く穏やかな日中で、参加者39人と3年前と変わらない会員に参加していただきました。

当日の測定項目は片足開眼立ち・身長測定・握力測定・長座体前屈・一本橋歩き・足指力測定・体組成検査などとなっております。

測定開始に先立ち中里先生の指導のもと、準備体操を行って体をほぐし、その後、片足開眼立ちから測定をスタートさせました。その後、会員の皆さんは、それぞれに別れ、好きな測定から始めました。ご自分の体力に喜んだり、ガツカリしてみたりと、にぎやかな測定となりました。



久しぶりの測定会なのでトブルもあり、反省すべきことも多くありました。

身長測定器が手作り紙製のため正確ではないとのクレームがあり、体組成検査では測定に時間がかかりすぎる、手際が悪いとの不満が出され、帰ってしまった会員もいました。

それを踏まえ、安全管理委員会としては、身長計測器については新しいものを購入することになり、体組成検査においては、開会時に時間がかかる旨を伝え、測定場所にイスを多めに置いておくなど対策を講じる予定です。

また、今後個人の数値を5年間記録し、ご本人にお渡しするようにはしました。

今回の測定会は大過なく終了しました。令和5年度も9月と3月に予定しています。

なお9月は東部地区を重点としたく、東京ドームスポーツセンター(大門町2-14-37)で実施いたします。

東京マラソン (ポランテニア活動)

3月5日(日)、東京マラソンポランテニアに参加しました。応援イベント会場での観客誘導です。

当シルバーから7人が参加し、事前に抗原検査を済ませ、川風が強い場所というので防寒対策をしました。

天気は曇り、久しぶりの遠出です。午前10時、都庁前をスタートしたランナーは、私達が日本橋浜町の詰所に着いてまもなく、大きな通りの向こう側をどんどん走っています。ここは往路15キロ、復路30キロの地点です。

イベント会場は大きなビルの広場で、沿道はマラソンの応援、イベントを見に来た家族づれなどで人が溢れています。



ランナーとして参加
(鬼滅の刃) 山口次長

私たちは、沿道で声かけをして人の流れの誘導です。都内の2つのシルバーセンターと一緒に活動でした。

後方の広場では、楽団の演奏、踊りやダンスが演じられており、大音響の音楽が流れ、子供達グループの終わりに「がんばってくださいーい！」の大声援です。途中、東京しごと財団の方たちの激励見回りもありました。

大勢のランナーは、国際色豊かで、車椅子の方も見え、30キロの地点なのに皆さん元気に走り抜けていきます。

そして、走ってきました、復路の山口次長です。ほっとして、記念撮影です。大東京マラソンの応援で、安心・安全をめざしての活動でしたが、ポランテニアのみなさんお元気に活動され、私自身、寒風の中の東京マラソンを楽しめた一日でした。

(前副会長 永渕充子記)

安全就業の近道について

安全管理委員会では、会員の皆さんが怪我することなく、楽しく生きがいを感じながら就業する為の方法を模索しています。

以下の事例ですが、令和5年度2ヶ月間の事例ですが、後日インタビューをしてみると、いずれの事故でも、「若い頃は出来たので、出来ると思っていたが体がついて行かずに傷害事故になった」とのことでした。

これは、とても残念なことですが、反射神経・筋力・体力（スタミナ）等は加齢と共に確実に衰えてきているのです。

それを克服する方法を安全管理委員会で検討しています。

例えばセンターで企画する「体力測定会等」は、ご自身の筋力や体力を客観的に測定することができません。今年度は、市立スポーツセンターと青少年センターで実施予定です。ご自身の測定データを把握することも安全就業の近道と言えます。

また、ご承知のことと思いますが、また、ご承知のことと思いますが、交通安全法の改正により、努力義務となりました。東京都において、交通事故全体の割合は高く、約8割が「頭部」の損傷が主因で死亡しています。ヘルメットを正しく着用することにより頭部損傷の割合は、およそ4分の1に低下すると言われています。

令和5年度4～5月分 就業中の傷害事故状況

件数	仕事内容	発生状況	原因	事故原因分析
1	植木剪定	センターの樹木を剪定中、植木用の三脚上でバランスを崩した為、地上2.5mの高さから飛び降りた際に負傷し、救急搬送された。	植木用の三脚をロープ等での固定を怠り、バランスを崩した際に、無謀にも飛び降りた。	こまめに三脚を移動して作業に当たるべきところを、手を伸ばして無理な体制で作業した。
2	バックジヤ作業委託	作業中トイレに行き、腰ベルトを締めようと力を入れたときにバランスを崩し左側に転倒、左壁におでこをぶつけて流血し、救急搬送された。	狭いトイレの中でバランスを崩した。	少し疲れが溜まっていたかもしれないとのこと。
3	放置自転車等対策業務	会員が左側歩道を自転車で走行中、幸町3-4-5付近の路地から出てきた車と出合い頭に接触した際にバランスを崩し転倒、左くるぶしを打撲した。	会員運転の自転車と自動車と出合い頭に接触した際に、バランスを崩し転倒した。	車の前方不注意。見通しの悪い路地だったため双方発見が遅れ、接触してしまった。

安全管理委員会では、会員の皆さんが怪我することなく、楽しく生きがいを感じながら就業する為の方法を模索しています。

以下の事例ですが、令和5年度2ヶ月間の事例ですが、後日インタビューをしてみると、いずれの事故でも、「若い頃は出来たので、出来ると思っていたが体がついて行かずに傷害事故になった」とのことでした。

これは、とても残念なことですが、反射神経・筋力・体力（スタミナ）等は加齢と共に確実に衰えてきているのです。

それを克服する方法を安全管理委員会で検討しています。

例えばセンターで企画する「体力測定会等」は、ご自身の筋力や体力を客観的に測定することができません。今年度は、市立スポーツセンターと青少年センターで実施予定です。ご自身の測定データを把握することも安全就業の近道と言えます。

また、ご承知のことと思いますが、また、ご承知のことと思いますが、交通安全法の改正により、努力義務となりました。東京都において、交通事故全体の割合は高く、約8割が「頭部」の損傷が主因で死亡しています。ヘルメットを正しく着用することにより頭部損傷の割合は、およそ4分の1に低下すると言われています。



(堀江)

今までの経験した感染症に、3年間にわたる自粛の強い影響も、制限されてきた活動も、新しいコロナが5類に引き下げられ、総会、散策会等、ほぼ通常通り実施できるとは、4年目に、ようやく日常を取り戻せるかと思いきや、シルバー世代にとっても長い期間は、前の生活に戻るのは容易なことではありません。

それでも、少しづつ、楽しいことを考えて進みましょう。

編集後記

令和5年10月以降の入会説明会日程表

【原則毎月第3水曜日 13時～ シルバー人材センター会議室】

令和5年10月18日(水) 令和5年11月15日(水) 令和5年12月20日(水)
令和6年1月17日(水) 令和6年2月21日(水) 令和6年3月19日(火)

予約制になっています。『開催日2日前までに予約をお願いします』
シルバー人材センターホームページから会員登録(仮入会)をされた方は、センターでの手続きが短縮されます。

シルバーひがしくるめ114号 令和5年8月発行 〒203-0043 東久留米市下里四丁目1番44号
公益社団法人 東久留米市シルバー人材センター ☎042-475-0738 FAX042-473-7730
編集委員会 http://www.sjc.ne.jp/silver

